

# 大久保の家4 - 中心に光庭をもつ家 -

設計者/WOOD'S環境計画工房  
施工者/株式会社津久井工務店



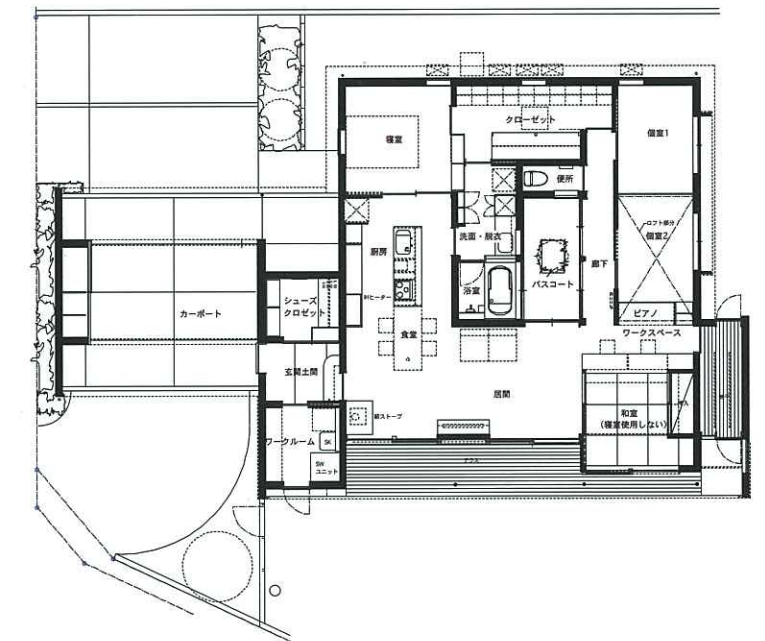
## 設計趣旨 CONCEPT

敷地は近年、開発がすすみ自然と郊外都市の環境が混在する地域分譲地の一面です。そのような環境においてプライバシーを確保しつつ、自然を取り込み、家族4人がのびのび住まうことのできる平屋の家として計画しました。

主道路のある西側は駐車とエントランススペースとし、建物は10m×10mの正方形の家の中心に水廻りと光庭を配置し、ほぼワンルームの生活スペースが広がる開放感あふれる生活が可能なプランの住宅です。

南と東は庭空間となり、木板塀を設置し、居間空間と庭が一体となり、プライバシーを確保しており、外壁はメンテナンスのいらないガルバリウム鋼板、内部は杉と漆喰によって暖かいイメージの空間となっております。

## 平面図



1F

## 講評 REVIEW

自然と郊外都市の環境が混在する地域分譲地の一面に建つ、自然を取り込み、家族4人がのびのび住まうことのできる平屋の家。

10m×10mの正方形の家の中心に水廻りと光庭を配置し、その周りのほぼワンルームの空間を引き戸で仕切ることにより、生活の変化に対応出来る開放感あふれる空間を実現しています。機械的な冷暖房に頼らない生活への希望に応える為の工夫がなされ、南側居室の広い開口と軒の深い庇による日射のコントロール、中庭をつかった通風、薪ストーブなど自然エネルギーの利用、地球環境に優しい配慮がなされています。

建物と外部空間とのバランスがよく、敷地周囲の木板塀により適度に囲われた庭と居住空間が一体となり、のびやかさとプライバシーの確保を両立させています。メンテナンスを考慮した金属系の外壁と内部の杉板と漆喰によるやわらかであたたかい空間との対比など、住まい手にとっての快適性が感じられる住まいとなっています。

